

平成30年度 長崎県美容専門学校 自己点検・評価報告書

【評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2 不適切・・・1】

(1)教育理念・目標・人材育成像

評価項目	自己評価
(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3
(2)学校は、学習指導、生活指導をととして社会人としての基本を学び、美容業界の発展に貢献できる教育をおこなっている。	3
(3)各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3

【意見】

・社会に出る上での人間の教育や育成には、もう少し力を入れても良いのではないかと思います。

【改善のための方策】

・学校の目的・目標を明確に伝え、教える。また、わかりやすいように掲示する。それでも理解できない場合は、粘り強く伝えていく。

(2)学校運営

設 問	自己評価
(1)目的に沿った運営方針が策定されているか。	4
(2)運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3
(3)運営組織や意思決定機能は、定期的に明確化されているか、また有効に機能しているか。	3
(4)人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3
(5)教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3
(6)業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
(7)教育活動などに関する情報公開が適切になされているか。	3
(8)情報システム化などによる業務の効率化が図られているか。	4

【意見】

・他校に比べて+αの実技が少ないと思う。詳しく知りたい。

・実技の授業内での時間配分やメニューをもう少し効率的にしてほしいです。

・実技の時間をもう少し増やした方が良いと思います。

【改善のための方策】

・1年次において、3つの選択コース(カット・WD・ブライダル)を行い、学生の希望に応えたカリキュラム編成を行う。(年間30時間)

・たださせるのではなく、その日の目標設定を明確にし、効率的に行う。また、教員を1名増やす事で、個人指導に時間を費やす事ができる。

・ヘアショーなどの行事に対する時間調整を提案し、サロンでの必要な実技時間を増やすため、60時間を次年度捻出する。

(3)教育活動

設 問	自己評価
(1)学校は、配布されたシラバス(授業計画)に基づき、計画的な学習指導を行っている。	3
(2)学校は、専門教科とその他の教科を、バランスよく配分し、基礎力の育成に向けた指導がなされている。	3
(3)先生達は、実技の授業で各技術ごとに細かい指導をおこない基礎技術、接客技術の向上を目指している。	3
(4)学校は、資格取得を目標に授業の中で試験対策等をおこなっている。	4
(5)学校は、成績・評価について学則に定めており、また企業関係者からの評価については、学外コンテスト、技術大会等に出場し受賞を目指している。	4
(6)学校は、挨拶や礼儀作法等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせている。	3

【意見】

・個人面でのサポートにはまだムラがあるのではないかと思います。

【改善のための方策】

・1人の教員が全員と話すのは無理だが、一部の学生に時間を取られているのが現状。教員を1名追加する事で対策を講じたい。また、夏休みなどの長期休暇や放課後開放の日程を早期に学生に伝達する事で、バイト調整して個人指導に充てる。

(4)学生指導等

設 問	自己評価
(1)基本的生活習慣の確立のため取り組みが行われているか。	3
(2)学生の完全管理のための取り組み等(災害共済保険、スクールカウンセラー発達障害のある学生等への支援が行われているか。	3
(3)学生・保護者からの相談体制が整備されているか。	3
(4)進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか。	4

【意見】

・ワインディング部、作ってほしいです。

【改善のための方策】

・技術の上手なパート、アルバイトなどの教員を雇う。

(5)特別活動等

設 問	自己評価
(1)クラブ活動等特別活動を推奨、支援しているか。	3

【意見】

- ・ボランティア等多くあり、とても良い
- ・工事の時期はもう少し考えていただきたかったです。

【改善のための方策】

- ・ボランティアについては、今後も継続していきたい。地域、異業種の人から声をかけて頂き、学生の力で長崎を盛り上げていきたい。
- ・クロスの劣化、電気周辺の錆、靴箱、ロッカーの劣化・破損等があり、安全管理の観点から早急に対応した。

(6)学修成果

設 問	自己評価
(1)学校は、企業参加の就職説明会を毎年定期的に行い、学生に対しての就職支援に努めている。また、個別に2者面談を定期的に行っている。	4
(2)学校は、資格取得率の向上に対してのサポート体制をとっている。	4
(3)学校は、退学率の低減について担任制による学生指導の実施、定期的な個人面談、教職員全体でのサポート体制をとっている。	4

【意見】

- ・特にありません。

【改善のための方策】

- ・難しい問題にはついては、行政と連携をとり、専門的な解決、支援を行う。

(7)学生支援

設 問	自己評価
(1)学校は、進路、就職に関する支援体制を整備している。	4
(2)学校は課外活動(放課後練習、ワインディング部等)に対する支援体制を整備している。	3
(3)学校は、学生相談に関する体制を整備している。	4
(4)学校は、保護者への連絡を適切に行い、連携体制をとっている。	4
(5)学校は、健康診断を毎年実施し、学生の健康面での支援を行っている。	4
(6)学校は、学費納入サポートとして複数設定しており、無理のない学費納入計画を作成し、安心して学校生活を送れるよう支援体制をとっている。	3

【意見】

- ・特にありません。

【改善のための方策】

- ・特にありません。

(8)教育環境

設 問	自己評価
(1)学校は、施設、設備等教育上の必要性に十分対応できるように整備している。	3
(2)学校は、特別授業として、各種イベント、ヘア・ファッションショー、おくんち見学、外部講師によるセミナー、サロン見学などを定期的実施し、学生の感性や創造性の向上を目指している。	4
(3)学校は、防災訓練を定期的に行っている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・不審者対応の訓練も早急に実施する。

(9)学生の受け入れ募集

設 問	自己評価
(1)学生募集活動は適正に行われているか。	4
(2)学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
(3)学納金は妥当なものとなっているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・情報収集を充分に行い、本校独自の魅力ある活動を行っていく。

(10)財務

設 問	自己評価
(1)中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
(2)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
(3)財務について会計監査が適正に行われているか。	4
(4)財務情報公開の体制整備はできているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

(11) 法令などの遵守

設 問	自己評価
(1) 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
(2) 個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか。	4
(3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
(4) 自己評価結果を公開しているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

(12) 社会貢献・地域貢献

設 問	自己評価
(1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3
(2) 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。	4
(3) 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託などを積極的に実施しているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・地域との連携を更に深め、よりよい関係性を構築していく。